

第9回 棚倉ふるさと検定問題 (1級)

No.	問題文	1	2	3	4
1	棚倉城は丹羽長重によって寛永2(1625)年に現在の場所に建てられましたが、それまでに現在の棚倉城の場所に建っていた建物は次のうちどれか。	馬場都々古別神社	八槻都々古別神社	宇迦神社	棚倉町立図書館
2	244年の長い歴史を持つ棚倉城ですが、その説明として間違っているものはどれか。	城は本丸、二ノ丸、三ノ丸から構成される輪郭式の城だった	内堀は水深が約20mと非常に深く大きいものであった	堀があり、また本丸の四方には土塁、隅櫓と非常に重要な防御だった	十分な面積が得られ、外敵から城を守るのに都合のいい場所が選ばれた
3	1602年(慶弔7年)佐竹義宜が秋田に移った後、赤館城で棚倉藩の初代藩主になった人物は誰か。	赤館七郎	立花宗茂	丹羽長重	坂上田村麻呂
4	棚倉城が攻め落とされた時に新政府軍側の指揮を取っていたのは誰か。	西郷隆盛	阿部正静	板垣退助	大村益次郎
5	棚倉城が落とされてから約1ヵ月の間、会津を攻めるために新政府軍が在陣していた場所はどこか。	現在の棚倉小学校がある場所	降福寺	蓮家寺	長久寺
6	歴代の棚倉城主の中で、最年少で城主となった年齢は何歳か。	4歳	7歳	14歳	18歳
7	初代城主丹羽長重は棚倉城を築城中に別の城へ移り、2代城主内藤信照が後を継ぐことになりましたが、長重が移った城はどれか。	白河城	二本松城	会津若松城	鶴ヶ城
8	棚倉行きを不服と思った10代棚倉城主である井上正甫ですが、彼がとった行動で当てはまらないのはどれか。	棚倉は蛇だらけだとウソの話を幕府に申し立てた	早々に家督を息子に譲り、隠居生活をした	色々と理由をつけて棚倉の地へ足を踏み入れなかった	重税など農民への圧力を強くした
9	棚倉城は新土城とも呼ばれていましたが、それはなぜか。	城壁を白壁に仕上げられず荒土のままだったため	近くの家を取り壊し新しい土として再利用したため	材料に使う土が足りず、寝かせていない荒い土を多用したため	赤館と比べて見たい目がきれいで新しい城だったため
10	馬場都々古別神社と八槻都々古別神社の祭神は2柱ですが、味耜高彥根命と何でしょうか	日本武尊	弘法大志	聖徳太子	倉稻魂命
11	戊辰戦争後に棚倉藩を任せられたのは、16代棚倉城主であった阿部正静ではなく、義理の叔父であった阿部正功でした。その理由はどれか。	住民からの反対意見が多かったため	正静が戊辰戦争の際に行方不明となったため	正静が戊辰戦争の際に幕府側に味方したため	正静が辞退をしたため
12	水戸藩の過激な尊王攘夷運動を掲げる一派である天狗党が捕まった際に、わずか13歳の少年もおり、その毅然とした最期の様子から〇〇小僧と呼ばれ伝わっています。その呼び名とはどれか。	棚倉	八溝	ネズミ	天狗

13	関ヶ原の戦いで豊臣方に味方し、徳川家康に領地を没収されてしまった丹羽長重ですが、彼が徳川秀忠に許され常陸国古渡にて大名に復活してから棚倉藩へ移るときに領地はどうなったか。	ひたちのくにふつと 常陸国古渡に3万石となった	ひたちのくにふつと 常陸国古渡に5万石となった	ひたちのくにふつと 常陸国古渡に1万石となった	ひたちのくにふつと 常陸国古渡に2万5千石で復活し、棚倉へ移るときは5万石となった
14	棚倉大火は昭和何年に起きたか。	昭和8年	昭和10年	昭和13年	昭和15年
15	2代棚倉城主となった内藤信照は棚倉城の完成の他に城下町の整備として、いろいろなことを行いました。その内容に当てはまらないのはどれか。	寺、神社を積極的に保護した	火事、凶作になった時の備えとして、隠し財産の米、金銭を準備した	各田畑の収穫を調べ、それにより税を決定した	生活用水など生活インフラの整備をした
16	八溝山を訪れたり、八槻都々古別神社に「御簾」を寄進したりと棚倉との関係が深い時代劇でもおなじみの人物は誰か。	徳川光圀	伊達政宗	松平定信	佐竹義宣
17	赤館城は棚倉城ができる以前から、有力な拠点として機能していましたが、その内容として間違っているものはどれか。	棚倉城が築城された後も、拠点として臣下を置き、棚倉城、赤館城の2城を維持した	立花宗茂が入封後、棚倉藩の初代藩主となった	戦国時代には領地争いにより、城主がめまぐるしく替わった	発掘調査では、長大な土塁や堀が巡っていることが明らかになった
18	胡麻沢古墳は内部から箱式石棺が2基発見され、非常に保存状態の良い男女の人骨と副葬品も発見されました。さて、この副葬品から直刀、鉄鏃（鉄製のやじり）の他もう1種発見され、それは非常に出土例の少ない珍しい遺物で県内でも3例しかないものでした。それはどれか。	石鏃	埴輪	勾玉	骨鏃
19	山本不動尊は棚倉藩主から厚い保護を受けていました。12代棚倉城主松平康爵が開運祈願のために寄進したものは何か。	石灯籠	不動明王の剣	仏像	本堂
20	次の大名家のうち、棚倉藩を治めた期間が最も長いのはどれか。	小笠原家	井上家	阿部家	内藤家
21	久慈川上流の崖ノ上遺跡から見つかった遺物の1つは棚倉式〇〇と呼ばれ東北の弥生時代を考える上で重要なものとされています。それはいったい何か。	棚倉式石斧	棚倉式土器	棚倉式土偶	棚倉式仮面
22	松並平遺跡は、古墳時代からある時代までの集落跡であることが発掘調査でわかっています。それは何時代か。	弥生	江戸	平安	室町
23	福島、栃木、茨城の県境にある八溝山からは昔ある鉱物が多く採れました。その鉱物とはどれか。	銅	鉄	金	銀
24	国史跡の流麿寺跡より出土した金銀象嵌鉄剣には刀身基部に装飾的文様がありますが、その内容として正しいのはどれか。	炎状の文様の後に梵字	炎状の文様と梵字が交互	仏の絵の後に梵字	仏の絵と梵字が交互

25	16代 ^{だい} 棚倉城主である阿部 ^{あべ} 正静 ^{まさしず} の時代に参加した東北 ^{とうほく} や越後 ^{えちご} の諸藩 ^{しよはん} からなる反政府 ^{はんせいふ} 軍事 ^{けいし} 同盟 ^{どうめい} をなんと いうか。	奥羽 ^{おうう} 越列 ^{えつれつ} 藩 ^{はん} 同盟 ^{どうめい}	奥州 ^{おうしゅう} 藩 ^{はん} 同盟 ^{どうめい}	奥羽 ^{おうう} 越烈 ^{えつれつ} 藩 ^{はん} 同盟 ^{どうめい}	東北 ^{とうほく} 藩政府 ^{はんせいふ} 討伐 ^{とうばつ} 同 盟 ^{どうめい}
26	阿部 ^{あべ} 正功 ^{まさたけ} が再興 ^{さいこう} した藩校 ^{はんこう} の名前 ^{なまえ} をなんと 言うか。	修明 ^{しゅうめい} 館 ^{かん}	修道 ^{しゅうどう} 館 ^{かん}	寺 ^{てら} 小屋 ^{こや}	日新 ^{にっしん} 館 ^{かん}
27	棚倉 ^{たなぐら} 町 ^{まち} で緑 ^{みどり} の文化 ^{ぶんか} 財 ^{ざい} に指定 ^{してい} されてい る樹木 ^{じゆもく} のうち樹 ^{じゆ} 齢 ^{れい} が一番 ^{いちばん} 長い ^{なが} のはど れか。	二柱 ^{ふたはしら} 神社 ^{じんじや} の杉 ^{の杉}	棚倉 ^{たなぐら} 城跡 ^{おお} の大 ^{おほ} ケヤ キ	希望 ^{きぼう} の桜 ^{さくら}	秋葉 ^{あきば} 神社 ^{じんじや} のケヤ キ
28	棚倉 ^{たなぐら} 城 ^{じやう} 二ノ丸 ^{にのまる} にあつた南門 ^{なんもん} は、現存 ^{げんぜん} する唯一 ^{ゆい} の建造 ^{けいぞう} 物 ^{ぶつ} ですが、町内 ^{まちうち} のどこの寺 ^{てら} にあ るか。	蓮華 ^{れんげ} 寺 ^じ	長久 ^{ちやうきう} 寺 ^じ	常隆 ^{じやうりゆう} 寺 ^じ	蓮台 ^{れんだい} 寺 ^じ
29	棚倉 ^{たなぐら} 城 ^{じやう} を築城 ^{きよじやう} する際に、馬場 ^{ばば} 都々古 ^{つとつこ} 別 ^{べつ} 神社 ^{じんじや} は現在 ^{げんざい} の 位置 ^{いち} に移築 ^い されましたが、この神社 ^{じんじや} の本殿 ^{ほんでん} は現在 ^{げんざい} ど のような状態 ^{じやうたい} になつて いるか。	一部 ^{いぶ} 後世 ^{こうせい} の手 ^て によ る改変 ^{かいへん} はあるが、 当時 ^{たうじ} の建築 ^{けんちく} 部材 ^{ぶざい} が 数多 ^{かずた} くみられる	殆ど ^{たいてい} 後世 ^{こうせい} の手 ^て が 入つてしまつた が、屋根 ^{やね} や壁 ^{かべ} は当 時 ^{たうじ} のままになつて いる	当時 ^{たうじ} の建築 ^{けんちく} 内容 ^{ないよう} で そのまま建つてい る	火災 ^{かさい} により一度 ^{いちど} は 全焼 ^{ぜんせう} 失 ^し てしまつ たが、後世 ^{こうせい} の手 ^て に よ り建つてな おされ た
30	県 ^{けん} 指定 ^{してい} 無形 ^{むけい} 民俗 ^{みんぞく} 文化 ^{ぶんか} 財 ^{ざい} のお 杵 ^{ます} 明神 ^{みょうじん} の杵送 ^{ますおく} り行 事 ^{ぎやうじ} は、4つの地区 ^{くわい} で行 われる行 事 ^{ぎやうじ} ですが、正しい地区 ^{くわい} はど れか。	福井 ^{ふくい} 地区 ^{ちく} 玉野 ^{たまの} 地区 ^{ちく} 一色 ^{いっしき} 地区 ^{ちく} 浅川 ^{あさかわ} 町 ^{まち} 蓑輪 ^{みづら} 地区 ^{ちく}	福井 ^{ふくい} 地区 ^{ちく} 玉野 ^{たまの} 地区 ^{ちく} 堤 ^{つづみ} 地区 ^{ちく} 浅川 ^{あさかわ} 町 ^{まち} 蓑輪 ^{みづら} 地区 ^{ちく}	逆川 ^{さかさが} 地区 ^{ちく} 福井 ^{ふくい} 地区 ^{ちく} 玉野 ^{たまの} 地区 ^{ちく} 一色 ^{いっしき} 地区 ^{ちく}	板橋 ^{いたばし} 地区 ^{ちく} 福井 ^{ふくい} 地区 ^{ちく} 玉野 ^{たまの} 地区 ^{ちく} 一色 ^{いっしき} 地区 ^{ちく}
31	八槻 ^{やっつき} 都々古 ^{つとつこ} 別 ^{べつ} 神社 ^{じんじや} の大般若 ^{だいぱんぎやう} 経 ^{きやう} の書写 ^{しよしゃ} に 関わつた僧 ^{そう} で 正しいのはど れか。	東北 ^{とうほく} 地方 ^{ちほう} の僧 ^{そう} のみ で書写 ^{しよしゃ} され た	遠方 ^{えんぱう} は江戸 ^{えど} 周辺 ^{しゆべん} の 僧 ^{そう} までが来 て書写 ^{しよしゃ} され た	白川 ^{しらかわ} 郡 ^{ぐん} の僧 ^{そう} のみ で書写 ^{しよしゃ} され た	遠方 ^{えんぱう} は九州 ^{きゅうしゅう} 、四国 ^{しよこく} まで の僧 ^{そう} が来 て書写 ^{しよしゃ} され た
32	山本 ^{やまもと} 不動 ^{ふどう} 尊 ^{そん} の一番 ^{いちばん} 奥 ^{おく} にある岩窟 ^{がんくつ} には、木 ^き や鉄 ^{てつ} ででき てい るある形 ^{かたち} をした物 ^{ぶつ} が御利益 ^{ごりやく} を願 ^{ねが} う多 くの 人々 ^{ひとびと} に よつて寄進 ^{きしん} されてい ます。それ は何か。	けん 剣	ふだ 札	クワ	ほのお 炎
33	馬場 ^{ばば} 都々古 ^{つとつこ} 別 ^{べつ} 神社 ^{じんじや} に伝 ^{でん} わる古文書 ^{こもんじよ} ですが、残 ^{のこ} つて る 内容 ^{ないよう} に当 ^{あた} てはま らな いもの はど れか。	佐竹 ^{さたけ} 義宣 ^{よしのぶ} による社 ^{しゃ} 殿 ^{でん} の造営 ^{ぞうえい} に 関 する 文書 ^{ぶんしよ}	丹羽 ^{にわ} 長重 ^{ながしげ} が自 身 ^{みづか} の 領地 ^{りやうぢ} を社 に寄 進 し た 文書 ^{ぶんしよ}	神社 ^{じんじや} の由来 ^{ゆらい} につ いての縁起 ^{えんぎ}	領民 ^{りやうみん} の田畑 ^{たはた} の面積 ^{めんせき} を記 ^し した 地図 ^{ちず}
34	長久 ^{ちやうきう} 寺 ^じ 山門 ^{さんもん} の両側 ^{りやうがわ} にある金剛 ^{こんごう} 力士 ^{りきし} 像 ^{ざう} は、人 ^{ひと} びとが 廃 ^{はい} 仏 ^{ぶつ} 毀 ^き 釈 ^{しやく} の際 ^{さい} にある社 ^{しゃ} に あつたもの を移 ^{うつ} し守 ^{まも} つたも の と さ れ て い ま す。それ はど の社 ^{しゃ} か。	秋葉 ^{あきば} 神社 ^{じんじや}	宇迦 ^{うが} 神社 ^{じんじや}	馬場 ^{ばば} 都々古 ^{つとつこ} 別 ^{べつ} 神社 ^{じんじや}	八槻 ^{やっつき} 都々古 ^{つとつこ} 別 ^{べつ} 神社 ^{じんじや}
35	田山 ^{たやま} 花袋 ^{かた} は棚倉 ^{たなぐら} の名勝 ^{めいせう} 、旧跡 ^{きゆせき} を和歌 ^{わが} にして詠 ^よ んだ作 品 ^{しよひん} を 残 ^{のこ} して い ま す が、それ はど れか。	棚倉 ^{たなぐら} 名城 ^{めいじやう} 和歌集 ^{わがしゆ}	棚倉 ^{たなぐら} 名勝 ^{めいせう} 文芸集 ^{ぶんげいしゆ}	棚倉 ^{たなぐら} 百選集 ^{ひやくせんしゆ}	棚倉 ^{たなぐら} 百勝 ^{ひやくせう} 詠歌集 ^{えいかしゆ}
36	毎年 ^{まいねん} 旧曆 ^{きゆれき} 1月6日 ^{いちがつにじつ} に八槻 ^{やっつき} 都々古 ^{つとつこ} 別 ^{べつ} 神社 ^{じんじや} で行 われ る御田 植 ^{おたうえ} の中 ^{なかつ} の水口 ^{みなくち} 祭 ^{まつり} り では、ある動物 ^{どうぶつ} のお面 ^{おもて} をかぶつ た 人 ^{ひと} が登 場 ^{とうじやう} して舞 ^{まい} を披 露 ^{ひろ} し ま す。その面 ^{おもて} とはど の動物 ^{どうぶつ} か。	かえる 蛙	きつね 狐	うし 牛	うま 馬
37	尾滝 ^{おたき} 神社 ^{じんじや} は別名 ^{はなぞの} 花園 ^{だいまうじん} 大明神 ^{だいめいじん} と呼ばれて ま す が、こ この社地 ^{しゃぢ} にある町指定 ^{まちしてい} 天然 ^{てんぜん} 記念物 ^{きねんぶつ} 、緑 ^{きよ} の文化 ^{ぶんか} 財 ^{ざい} に登 録 ^{ろく} され て る樹木 ^{じゆもく} が あ り ま す。それ は何か。	おおいちやう 大銀杏 ^{だいぎんぎやう}	さくら 桜	けやき	こうやまき 高野槇

38	歴代の棚倉城主に内藤豊前守信照など「〇〇守」と付く人は多くいますが、 <u>次のうち使われていないのはどれか</u>	かわちのかみ 河内守	むつのかみ 陸奥守	すおうのかみ 周防守	さどのかみ 佐渡守
39	蓮家寺の門は現在黒くなっていますが、昔は別の色でその面影は柱の所々に残っています。その色とは何色だったか。	灰色	赤	白	緑
40	馬場都々古別神社を建銚山（白河市表郷）から棚倉に遷したと伝えられているのは誰か。	やまとたけるのみこと 日本武尊	さかのうえのたむらまる 坂上田村麻呂	みなもとのよしえ 源義家	に わながしげ 丹羽長重
41	日本画家である勝田焦琴について当てはまるものはどれか。	29歳と若くして亡くなった	埴町出身である	山本不動尊にある鐘楼の天井に龍の絵を描いた	美術会を結成して、全国で展覧会を行った
42	棚倉出身の稲垣千頰は卒業式でお馴染のある曲の作詞をしています。その曲の原曲はスコットランド民謡の「オールド・ラング・ザイン」という曲なのですが、その曲とはどれか。	思い出のアルバム	蛍の光	あお 仰げば尊し	さくら 桜
43	聖護院道興が自から率いる本山派に属する寺院の視察や組織強化のために東国を巡った過程を記した書は何か。	かいこくざっき 廻国雑記	えんぎびこう 縁起備考	とおのものがたり 遠野物語	あきかぜ き 秋風の記
44	棚倉城が落城した日で正しいものはどれか。	けいおう 慶応4年6月24日	けいおう 慶応5年4月24日	けいおう 慶応6年4月24日	けいおう 慶応7年6月24日
45	徳川幕府の命により、一里（約4 km）ごとに設置され、旅人の目印となった一里塚が残っている場所として間違っているものはどれか。	おおめ 大梅	やまざわ 山際	やつき 八槻	さかさがわ 逆川
46	2代棚倉城主である内藤信照の時代に、紫衣事件により棚倉お預けとなった玉室宗珀は、京都のどのお寺の住職を務めていたか。	ひがしほんがんに 東本願寺	だいたくじ 大徳寺	てんりゅうじ 天龍寺	とうふくじ 東福寺
47	棚倉町は、昭和何年の1月に合併しましたか。	昭和10年	昭和20年	昭和40年	昭和30年
48	棚倉町の町の木は次のうちどれか。	いちよう 銀杏	まつ	けやき	すぎ
49	棚倉町の町の花は次のうちどれか。	つつじ	さくら	しゃくなげ	やまゆり
50	棚倉町にはたくさんの美しい桜の木があります。町指定天然記念物の「希望の桜」は次のうちどれか。				